事例No.	1984
公表年度	R4
団体の属性	一般市
団体名	群馬県みどり市

事例区分	DX

タグ	・ICT ・移住定住 ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	地域活性化

事例内容・タイトル

コロナ禍で現地に行きづらい状況でも空き家物件を360°内覧

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

04 コロナ禍で現地に行きづらい状況でも空き家物件を360°内覧【群馬県みどり市】

事業の概要

○ みどり市は、空き家バンクの登録物件情報を空き家に興味がある人や空き家の購入を検討している人等に向けて、効果的に提供する方法を検討した。

○ そして、令和2年度の11月からいくつかの掲載物件について、住まいの中の状況をカメラで撮影し、360°内覧可能な動画を作成してサイト上に掲載した。

○ それにより、移住希望者等のサイト利用者がコロナ禍で物件の内覧に行きにくい状況でも、オンラインで住まいを手軽に内覧することができ、暮らしのイメージがしやすくなり、空き家の利活用が促進された。





室内【VR360°内覧動画】

【参考情報①】 人口：5.0万人
関連URL： https://www.city.midori.gunma.jp/akiya_bank/（市HP）

【参考情報②】新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（内閣省）とは
URL：https://www.chisou.go.jp/tiiki/rinjikoufukin/index.html

もっと知りたい！ 担当者にインタビュー


取組の経緯・きっかけを教えてください。

（総務省）

令和2年から始まったコロナ禍で、行動が制限されるなか、賃貸・購入希望者に対して、より良い物件情報を提供できないかと検討した結果、360°カメラを活用した物件の撮影及びインターネット上への公開を行うことにしました。

これによりオンラインで、対象物件内に立っているかのように周囲を見渡すことが可能になりました。


（みどり市）


導入又は実証時において、国又は都道府県の支援制度（人的支援や技術提供、補助金等）を活用しましたか？

本件導入にあたり、映像作成委託料及び物件所有者へのDM費用として、内閣府の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（令和2年度）を活用しました。




事業の近況を教えてください。

令和2年度の11月に本件を導入してから7案件で、360°カメラを活用した物件の撮影及びインターネット上への公開を行いました。

空き家バンクの登録の増加に伴い、徐々にではありますが、360°内覧可能動画の登録も増え、オンラインで手軽に内覧することができております。



★担当：みどり市都市建設部 建設課★

令和3年度事業費 726千円